

P8311160.JPG 2019/06/29

元治元年七月一日より元治元年七月五日まで

P8311160 right

七月

朔日亥 朝雨乍止陰

五ツ半時御供揃にて、西丸仮御殿へ御徙移被_レ把_レ、御普請替御出来無し御席御差支有しに付、御目見無し、且御徙移御祝儀出仕等も追て、被_レ仰出積り、五ツ時登

宮四ツ時頃西丸へ師徙移被_レ為_レ濟羽目間おゐて、御目見有し、月番箱_レ捷_レとも岡崎へ

送る、松盛亭来りし旨、黄窪長女_レこう染齒の賀として過日寄陽へ詔へ買入鼈簪_二一柄

へ茶菓を添へ_レ鍬児を遣す、一泊の積り、保三出役被_レ命候、賀赤飯贈り越旨、長州沖

おいて重船

打砲逢に付、面暗いたし度旨、同国ミニストル宿寺詰より申越せし趣に付藤佐相談に来る

二日子 雨午前止猶陰

宅調、昨夕藤佐来り_二_一せし義に付、再考の趣一書遣す、加藤蕩太田来り面す、五郎生

P8311160 left

来る、甲州より唯今登管様申越得共、意あり断り遣す、黄窪へ鍬児迎のもの遣す再度

におよび_レ帰り来る、てつをはる追倍_二し_一来り泊る、鍬児延長に付、小品を設け久定と金

兼等に迄およぼせり

三日丑 雨朝止雲離合

友助来り時勢の義等論_レ弁_レす、保三来る、井上_二元_一来り志願筋の義申聞え、出 殿

黄昏前退朝

■籠へ尋問として鯛一尾銘酒一小壇を遣せし旨、_二寺山_一佐七京都見廻り組並被_レ仰付

吹聴来る

四日寅 陰漸晴雲

出 殿、甲豊両州金港_二_一の義に付、本日同所出張亜ミニストル本日右同港へ退く

山本_二次郎_一暑見

舞として来り鰻一重を贈られし旨、藤山稽古に来り、設け例の通り也

五日卯 晴

宅調、中沢_二誅_一来り面す、永田_二忠_一初て来り面す、木村甲州より魚三尾贈り来り尋問せらるる酬
うるに

*1:鼈簪、鼈甲_二べっこう_一、簪_二かんざし_一

*2:追倍_二おしばこ_一、人に付従_二うこと_一

()内は細字双行(二行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れあり、虫食いにより文字が無い等です。